

月刊 みんなねっと

10
2024



ていそい
涕涙

特集 グループホームへの期待



公益社団法人 全国精神保健福祉会

家族向け交流サイトみんなねっとサロン

～親、子ども、きょうだい、配偶者・パートナー等 ご家族の方限定～
さまざまな精神障害をもつ人たちの家族を対象に、家族同士が安心して気軽に繋がることができる、相談・情報交換を行うコミュニティサイトが「みんなねっとサロン」です。
With コロナ時代の新しい家族ピアサポート活動が始まっています。
匿名で全国どこからでも利用できます。スマートフォンで簡単にアクセスできます！

■ご利用方法（無料）

<https://minnanet-salon.net/service>
（みんなねっとサロンで検索）または
QRコードよりアクセスし、登録してください。



■お問い合わせ

minnanet.salon@seishinhoken.jp（メール）

◆メルマガ会員募集中◆

みんなねっとでは、メールマガジンを発行しています（無料）。当会の活動だけでなく、各都道府県連等関係団体の情報なども随時お知らせします。

賛助会員の方だけでなく、一般の方も「最新情報がほしい!!」という方も、ご登録できます。ご登録方法は、みんなねっとのホームページからご覧ください。
Twitter（ツイッター）やLINE（ライン）での情報提供も行っています。



公式ツイッターはじめました
@minnanet で検索☆



LINE公式アカウント
@minnanet



オンラインタイプの会員「WEB賛助会員」 （年度会費3,600円）募集のお知らせ

～従来の郵送版ではなく WEB 上から「月刊みんなねっと」を閲覧でき、
スマホやPC、タブレット等からいつでもアクセス OK です～

★申し込み方法★

1. 新規でお申し込み

みんなねっとのホームページにアクセス→右上の人のマークから個人IDを取得→賛助会員の申込み（オンラインタイプ）→会費納入確認後に閲覧開始となります。

2. すでに個別賛助会員の方でオンラインタイプへの切り替えをご希望の方

みんなねっとのホームページにアクセス→右上の人のマークから個人IDを取得→マイアカウントにログイン→マイアカウント内紫色の賛助会員ご入会済の方はこちらより詳細情報を入れて登録→マイアカウント内オンラインタイプへ変更をクリックから進む→完了→会費納入確認後に閲覧開始となります。

3. 家族会・複数賛助会員の方は事務局へご相談ください。

もくじ

2024年 10月号 通巻第211号

2 みんなのわ——読者のページ

6

特集



グループホームへの期待

曽根直樹、河野修三、船木陽介

-
- 14 多事彩々 鳴き声の美しさ 野村忠良
- 16 みんなねっと相談室から(第66回)
グループホームは「わが家」
- 18 子ども・きょうだい・配偶者 家族いろいろ(その54)
新たな歩みへ
- 20 リレー連載「リカバリーをめぐる、対話のように」⑨
当事者・親・支援者として (対話)濱崎果穂・神谷牧人
- 24 **知りたい！聴きたい！こんなとりくみ**(第43回)
自分らしく働く I P S (個別就労支援プログラム) の実践
- 28 **精神科薬剤師に聞く！クスリの疑問** 第16回
- 32 **フー！フー！これからの家族会** 第18回 きよみずの会&
佐賀きょうだい会(佐賀県)
- 34 マンガ **はじめまして** 鳥さなぎ
- 36 **お知らせします みんなねっとの活動**

〈表紙絵〉 zuoruren (福島県)

〈メッセージ〉 自分のために流す涙。その中には、希望が隠れている。

特集 ● グループホームへの期待

グループホームの現状と課題

日本社会事業大学専門職大学院 教授 曾根直樹

グループホーム制度とは

グループホーム（共同生活援助）は、障害のある人が共同生活を営む上で必要な住居と日常生活の支援を提供する事業です。世話人という職員が、主に夜間の時間帯において、食事の提供や掃除などの家事、金銭管理、入浴、排泄、食事の介護、日常生活の相談などの支援を行

います。

日中は、グループホームから仕事に行ったり、生活介護や就労継続支援B型に通ったりすることが基本です。グループホームには、利用者の障害によって介護などが必要な場合に、居宅介護事業所に委託してヘルパーによる支援を提供する「外部サービス利用型」、グループホームの職員が介護サービスを提供

する「介護サービス包括型」、年齢や障害の状態により日中グループホームから日中活動の場に通うことが難しい人に対して、グループホーム内で過ごす「日中サービス支援型」という3類型があります。夜間の支援体制も、利用者の状態に応じて、夜間は職員を配置せず、緊急時の連絡体制を確保する形態から、宿直や夜勤の職員をグループホーム内に配置して対応する形態まであります。ひとつのグ



曾根直樹さん

《第 66 回》

グループホームは 「わが家」

みんなねっと 相談室から



◆入居してわかったこと

退院と同時にグループホームに入り、世話人さんや他の利用者さんとのつきあい、隣室の物音などで爆発に至り世話人さんに叱られ、自宅に帰りたいが家族に拒否されているという本人からの相談です。

相談者の女性はグループホームで何とかやっていけると思っていたようですが、「病院の方がまだましかった、自宅に戻りたい」と親に泣きつき「親がなくなつた時のために、グループホームを探してようやく見つかったのだからわがままを言わないで」と、親にも叱られているそうです。退院して自由になれるなら

どこでも暮らせると思ったそうです。両親も本人の希望を確認し、見学もしたのだからそのうちに慣れると期待をして、グループホームに退院させてあげたのでしょう。似たような相談が他にもありました。

◆夢と現実

グループホームで生活を楽しくめると思っていたが、よそよそしく見える仲間の中で、不安感と孤独感が増して、頻繁に家族に電話をかけるので、家族との関係も険悪になっています。

「社会人の頃はアパート暮らしができていたので悔しいです。週に一度の訪問看護さんと



第16回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと北海道大会

10月12日タイムスケジュール		配信予定	
9:00	受付開始	ライブ (生中継)	
9:30	オンライン接続開始		
10:00	開会式：主催者挨拶・来賓挨拶		
10:30	行政説明：厚生労働省		
10:50	基調講演「自分自身とともに」 ～リソースとしての当事者家族の経験の可能性 講師：向谷地生良氏 /浦河べてるの家理事長・北海道医療大学特任教授		
11:50	昼休憩（50分）		
12:40	特別講演「家族会の可能性～変革は小さな声から～」 講師：伊藤千尋氏/淑徳大学准教授		
13:40	活動報告：みんなねっと理事長 岡田久実子		
13:55	大会宣言・次回開催地の紹介		
14:10	移動・休憩		
14:25	各分科会 (第1分科会) やってみよう家族の当事者研究 (第2分科会) 本人・家族・支援者のみんなでコミュニケーションしよう ～メリデン版訪問家族支援のもたらすもの (第3分科会) 家族の語りを聞くオープンダイアローグ	アーカイブ (録画)	
16:40	閉会（各分科会でまとめ・終わりの挨拶）		

10月11日（金） 『浦河べてるの家』見学オプションツアー

7：00～19：00 札幌駅北口発着



第16回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと北海道大会

対話を家族のものに 孤立から支援の輪の中へ～真のつながりを求めて



日時
2024年10月12日(土)

場所
北海道大学学術交流会館
札幌市北区北8条西5丁目8-1
(札幌駅西改札を出て北口・徒歩8分)

参加申し込み及び支払方法について

参加方法	参加費	申込方法	支払方法
オンラインのみ (締切 10/5)	3,000円(家族・一般) or 1,000円(当事者・学生)	みんなねっと ホームページより QRコード 	クレジットカード or 郵便払込票

参加申込み ネットからのお申し込みでお困りの方はみんなねっと事務局へご相談ください！

「みんなねっとホームページ」<https://seishinhoken.jp/events/2024hokkaido>

・当日ライブでの配信は全体会のみです。(分科会はアーカイブ配信)
(全体会・分科会は10月21日より期間限定アーカイブ配信予定です)

・大会誌配布

オンライン参加(当日会場に来られない方)はデータ配信のみになります。

お問い合わせ 北家連 011-756-0822 (月～金10:00～16:00)

チケット問合せ みんなねっと 03-5941-6345